http://www.shiminkatudo-hachioji.jp/gorakuren/

第１８５号
発行日　平成１８年１２月１６日
発行所　八王子の碁を楽しむ活きいき連合
住　所　南大沢５－９－１０－６０１
ＴＥＬ（０４２）６７５－１５８１
発行人　　竹 島　正 義
編集者　　渡 辺　己 三 男

碁楽連の目的

碁楽連は、八王子市内に居住する高年者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるようにその機会を提供し、高年者の福祉の増進に寄与することを目的とする。

碁楽連大会２段以下の部（八王子市・同市教育委員会・日本棋院後援）開かれる

先月１２日の３段以上の部に続いて、12 月 10 日、2 段以下の部が東淺川保健福祉センターで開かれました。前日の冷たい雨も上がって高齢者にとってはありがたい日和となりました。

参加者は、総勢９９名（昨年比６名減）でした。3 段以上の部は、１10 名と昨年比６名増でしたから、全体としては、昨年とまったく同じ２０９名となりました。いずれの大会もスムーズな運営ができたことを、ご協力くださった方々に対し厚くお礼申し上げます。

また、この日開会式で、2 段以下の高齢会員の表彰が行われました。表彰を受けた方々は、次のとおりです。

倉田政治２段（94 歳　台町同好会）　山上利博初段（90 歳　恩方同好会）
中岡　誠初段（８８歳　北野同好会）

山上さんは体調が思わしくないため欠席されましたが、倉田さんと中岡さんは、大会に参加されて３局を最後まで打たれたのは立派でした。碁楽連全体を通じての最高齢者である倉田さんについては、先日竹島会長がインターヴューした結果を別項に掲載しましたので、ぜひご一読ください。

12 月 10 日の碁楽連囲碁大会で競技中の
中岡　誠さん

今年の二つの大会を通じて、無断欠席者が４２名もありました。このため、せっかく作成してあった組み合わせを当日になって変更するため対局開始が遅れたり、弁当の数を大幅に変更せざるを得ないなど、主催者としては大変な労力を必要としました。これは昨年もまったく同じことが言われておりますので、来年の大会については申し込み方法を検討せざるを得ないものと思われます。(ある同好会では、２２名の申し込みに対して１３名が欠席)

碁楽連最高齢会員倉田政治さん（94 歳）にインターヴュー

今年度から新しい高齢者表彰が行われることとなり、ご承知のとおり 5 名の方が 11 月と１２月に行われた碁楽連大会で表彰されました。その中で最高齢者の倉田政治さん（台町同会所属　2 段　94 歳）にインターヴューしたのでその模様をお伝えします。

インターヴューは、12 月 3 日午後、竹島正義碁楽連会長が台町同好会の王座戦が行われていた台町市民センターへ出向いて行いました。この日、やや小柄な体をグレーのとっくりセーターの上に紺の縦じまの背広で包んだ倉田さん、対談前の白番の対局を拝見すると、打ち方はかなり慎重派のようでした。少なくともカンだけで打つ早碁ではなさそうでした。

「94 歳おめでとうございます。」の言葉を聞くや否や、ご自分の経歴を語り始めました。それによると、生まれは、明治 45 年 3 月（碁楽連でたった一人の明治生まれです。）府中の大国魂神社の近くだそうです。昭和 14 年郵便局勤務から、軍属として上海に派遣されたとのこと。上海では物資調達などの仕事をさせられましたが、4 年後の 18 年に日本に戻り、以来八王子郵便局に勤めたそうです。20 年には八王子で空襲に遭い、多くの方と同じように戦災を受けました。戦争では、18 年に、弟を北のアリューシャン・アッツ島で山崎部隊長とともに亡くされたとのことです。戦後は郵便局に昭和 47 年まで勤めた後、民間会社で 73 歳まで仕事を続けられました。

「囲碁以外のご趣味は？」との問いには、即座に「将棋は 3 段、詩吟は師範、それに俳句」との答えが返ってきました。俳句は水原秋櫻子の馬酔木に投稿していたとのこと。今でも家にいて暇をもてあますことはないとのことで、このあたりに長寿の秘訣が潜んでいるのかもしれません。

ご家庭は、85 歳の奥様と娘さん夫婦の 4 人暮らしで、一時頼んでいた訪問介護はわずらわしくて断ったとのこと。目の弱い奥様とやや難聴気味のご本人とで、「二人三脚の生活です」と、いっておられました。「健康法は？」との質問には、「毎日の屈伸体操と時々の買い物」とか。モットーは、「転ばぬ先の杖」、囲碁で教えられますといっておられました。ここで、さっきの慎重な碁の打ち方が納得できました。そういえば、毎日曜日娘さんの運転する車に乗って杖を持って会場へきていらっしゃるようです。帰りは電話をかければ娘が迎えに来てくれるとのこと。温かい家庭の様子が目に浮かぶようでした。どうか、これからも元気に碁を打ち続けていただきたいものです。

12 月 10 日の碁楽連囲碁大会で競技中の倉田政治さん

第17回　碁楽連囲碁大会(二段以下)の結果

平成１８年１２月１０日開催：参加者数９９名（浅川１５、恩方７、元八王子９、中野２、
大和田９、石川７、由井５、台町１４、由木９、北野１５、長房７）

Aクラス（２段・参加者２６名）

優勝 森久保啓二２段/長房→３段に昇格　準優勝　青木耕榮２段/北野　第３位 井出道明２段/大和田

Bクラス（２段・参加者２２名）

優勝 奥山武平２段/由木→３段に昇格　準優勝　斎藤吉明２段/長房　第３位 唐木伸２段/由木

Cクラス（初段・参加者１９名）

優勝 小関眞満初段/由井→２段に昇格　準優勝　青木岩三初段/恩方　第３位 田村強初段/石川

Dクラス（1級、2級・参加者１７名）

優勝 市村光彦１級/石川→初段に昇格　準優勝　森田千恵子１級/台町 第３位 中川寿夫１級/大和田

Eクラス（2級～5級・参加者１５名）

優勝 高橋敏彦２級/石川→１級に昇格　準優勝　細田正光３級/大和田　第３位 川野吉弘３級/由木

今号から表紙に記載のホームページのＵＲＬが変わりました。

これまで、松田前会長個人のホームディレクトリーをお借りして運用してきましたが、このたび、八王子市民活動協議会のサーバーに移したものです。

今後とも活発に運用してまいりますので、ご利用願います。

地区寿囲碁同好会の役員さんにお知らせ

別項の「11 月の理事会報告」にも載っておりますが、会計の主担当が山崎理事から望月理事に交代しました。ついては、会費の納入など会計に関することは、望月理事（電話・ファックス 663-9758）にご連絡ください。

原稿募集　薄謝進呈します

囲碁に偏らず、日常の出来事、ハイキング、旅行、ドライヴ、読書、音楽、短歌、俳句など・・・政治、宗教以外のことならなんでも OK です。また、同好会員のご家族からでも結構ですのでお待ちしております。匿名での掲載希望は、その旨お書きください。掲載させていただいた原稿については、薄謝を進呈します。

原稿送付先　八王子市南大沢 5-9-10-601　竹島　正義
電話・ファックス　０４２－６７５　－１５８１
わ し に ろ く な 碁 （ は 打 て な い が ） 囲 碁 は 一 番
Eメールアドレス　７ｚ９ｕ６３@ｂｍａ．ｂｉｇｌｏｂｅ．ｎｅ．ｊｐ

地区同好会めぐり（第8回・石川）

石川寿囲碁同好会は、八王子市北東部にある石川市民センターを拠点として碁を楽しむ人びとの集まりです。　平成６年、同市民センターの建設と共に会員１２人で発足しました。

現在では、年齢、性別、棋力に関係なく、７０余人の会員（うち碁楽連会員は２０人）を抱え、毎月の例会には半数以上の会員が出席して碁を楽しんでいます。

年齢層は４０代から８０代後半まで。棋力は九段の顧問から１０級の初心者まで、うち級位者は３分の１で初段を目指して研鑽しています。

会費は、月額２５０円、碁楽連会員はこれに上納金１００円を加え、３５０円です。

主な活動としては、毎月の例会が３～４回（１、２、４、５週の日曜日の午後１時から５時まで）開催され、このほか希望者による水曜日の例会（参加費１００円）があります。また囲碁大会が年３回(新春、春季、秋季)開催されています。

月例会では、会員相互の対局及び顧問による指導碁が行なわれますが、これに併行して、昨年から年２回（春季４～７月、秋季９～１２月）の４ヶ月にわたるリーグ戦があり、うち碁楽連会員の対局で棋聖戦の優勝者を決めています。

碁楽連の行事としては、毎年７月に碁楽連石川地区大会を当地で開催し、また毎年の碁楽連囲碁大会、八王子市民文化祭囲碁大会、棋聖・王座・天狗戦等に出場しています。来年からは地区団体対抗にも参加したいと考えています。

このほか石川地域住民協議会主催のセンターまつり囲碁大会に協賛するなど、地域社会の人たちとの交流にも務めています。また時には、新年会や一泊の囲碁旅行などが計画され、囲碁以外のコミュニケーションも楽しんでいます。

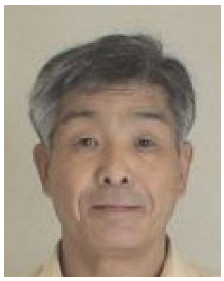
本会の特徴として、松田礼治・前会長さんがホームページでＰＲされたこともあって、地区以外の市内外の方々がかなり参加されています。また４０代、５０代の若い方々も大勢おられ、碁会が活性化されているように思います。

石川市民センターは谷地川のほとりにあり、周囲は緑も多く、日の長い季節には囲碁の後、川渕を散策されることも楽しみの一つです。

囲碁は頭の体操として身心の健康に役立つばかりでなく、仲間作りにも欠かせない楽しいスポーツです。　様々な機会を通じて団塊の世代や更に若い方々の参加を募り、新しい会員の拡充に努め、更に楽しい活動を目指していきたいと存じます。

松本 健彦　会長代理

勝山 恭男　会長



高橋 敏彦　副会長

１１月の理事会報告

25 日に開かれました。主な事項は次のとおりです。

１　囲碁連盟から碁盤・石２０組の引継ぎ

１１月３日に行う予定であったが、先方の都合により一部未了、完了時点で財産台帳の修正を要する。・・・真辺理事

２　会計担当理事の交代

会計業務の円滑な運営を図るため、前年度の例に倣い本日をもって会計の主担当を山崎理事から望月理事に交代する（引継ぎも本日行う。）。

３　碁楽連囲碁大会(２段以下の部)の最終準備

（１）　「３段以上の部」での反省点・・・改善を要する事項の検討

ア　無断欠席者１０数名あり、来年度に向けて防止方法を検討する。

イ　役員も参加可能な者は、参加できるように検討する。

（２）　役員の担当業務並びに会場設営、受付および競技の各係の氏名確認をした。これらは、「碁楽連だより大会臨時号」に掲載する。

（３）　審判長　三　上　靖　宏　氏（台町同好会　７段）とする。

（４）　その他前回どおり実施する。

４　高齢会員の表彰

（１）　被表彰者の確認(２段以下)

倉田政治　２段（台町）　山上利博　初段（恩方）　中岡　誠　初段（北野）

（２）　碁楽連全体を通じての最高齢者　倉田政治氏（９４歳）にインターヴューを行い会報に掲載する。

インターヴューの方法・・・１２月３日台町同好会の会場で午後２時から会長が行うこととし、山崎理事が調整する。

５　インターネットのホームページについて

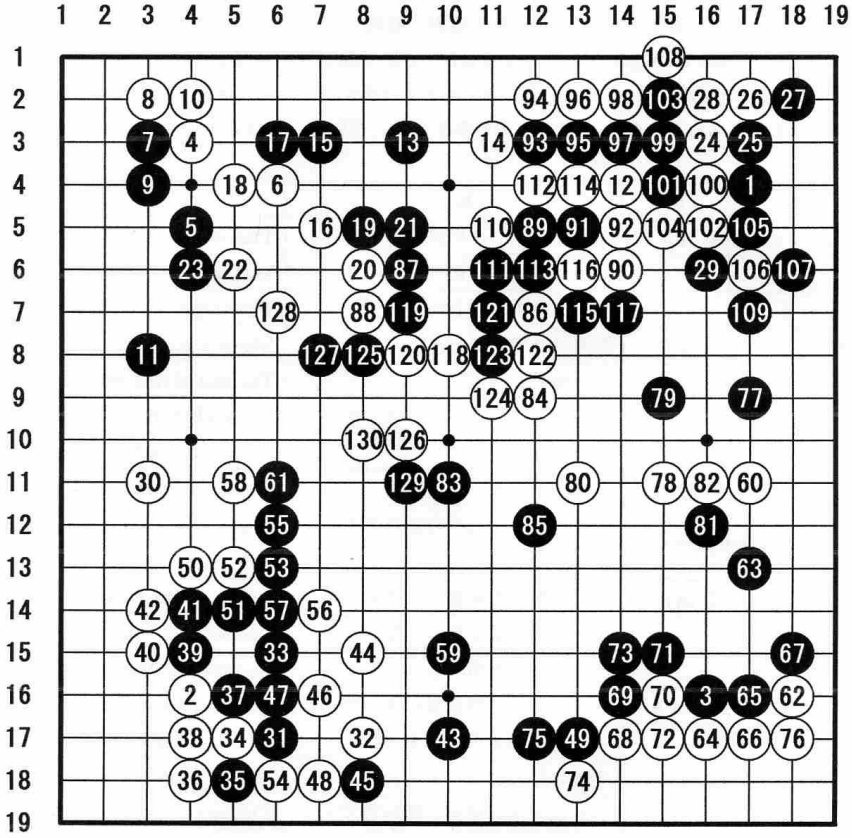
ＮＰＯ法人　八王子市民活動協議会に加入して碁楽連本来のホームページを開設し、従来のものから移行する（年会費５，０００円）。

６　東淺川研修部における昇格者の決定方法について（端山事務長からの要請）

「段級位に関する規程」第５条第１項第二号の「総対局数 45 局以上」を、以下の理由により、当面「総対局数 38 局以上」として取り扱う。

理由・・・同部の場合、6 ヶ月間の研修対局可能日数は 16 日であるが、そのうち 14 日出席可能として１日の対局数 3 とすれば総対局数は 42 局となり、規定の 45 局はほとんど不可能となる。勝率６８％は変更しない。

第17回碁楽連 囲碁大会Aｸﾗｽ優勝戦　　部分譜(1-130)
対局日：2006/12/10　結果：その他
黒番：森久保啓二 ２段　白番：青木耕栄 ２段



編集後記

今年もいよいよ押しつまってきました。今年度の全会員参加の囲碁大会も１２月１０日の碁楽連大会で終了しました。１３回に亘る大会や地区団体対抗囲碁会で昇格された方々良い年を越せますね。２階級も昇格した人は喜びも一入でしょう。残念にも賞を逸した方もくじけず、来年こそは!の意気込みでがんばってください。

４月からの会報の編集いかがだったでしょうか？ナーンダ大会に参加しても俺の名前が出なくなったじゃないか　とひがまないでください。編集についてのご意見、提案など、どしどしお寄せください。正月休みに原稿もお願いします。では皆様、良い年をお迎えください。

碁楽連が平成１９年４月１日合併することとなっている八王子囲碁連盟から、同連盟の歴史、八王子市民囲碁大会の開催経緯等について碁楽連だよりに掲載してほしい旨の要請があったので、以下同連盟が作成した文章を掲載します。なお、両団体の合併に関する覚書は、碁楽連だより１８３号に掲載されているので、省略します。

日本棋院支部及び八王子囲碁連盟設立と活動状況並びに八王子文化連盟加盟の経過及び八王子囲碁連盟と八王子の碁を楽しむ活きいき連合（以下「碁楽連」という）との合併に至る経緯

１．日本棋院支部・八王子囲碁連盟結成の経過

（1）昭和４３年（1968 年）、八王子市には日本棋院八王子支部及び同東部支部の２支部があり、この２支部が企業グループなどとの共同主催（八王子市教育委員会後援）により、乙姫旅館（千人町）において、第１回「市民囲碁大会」を開催した。

（2）昭和４５年（1970 年）、同２支部及び企業グループが中心となり、「八王子囲碁連盟」を結成し、八王子市内における文化的事業を行う団体として、八王子文化連盟へ加盟した。

（3）その後、日本棋院高尾支部・同元八王子支部が設立され、八王子市における日本棋院支部は４支部となり、各支部及び企業グループから大会実行委員を選出し、「市民囲碁大会」を運営した。

（4）以後、毎年１１月３日を中心に、八王子市（教育委員会）主催・八王子文化連盟協賛、八王子囲碁連盟主管により「市民文化祭囲碁大会」を開催し、八王子市の囲碁文化の高揚を図ることを目的として活動してきた。

（5）平成１８年（2006 年）１１月３日の市民文化祭囲碁大会においては、八王子市・八王子市民文化祭実行委員会主催、財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団共催、八王子文化連盟協賛、八王子囲碁連盟主管で実施することとなり、昭和４３年の 1 回以来、開催数は３９回を数えるに至った。

（注　文中の日本棋院八王子支部・同東部支部･同高尾支部・同元八王子支部は、現在、存在していない。）

２．碁楽連への合併申し入れに至る経過

八王子囲碁連盟発足当時においては連盟役員も相当数いたが、その後、減少の一途をたどり、かつ高齢化のうえ、新役員の加入も期待できない状況となった。

そこで、今後、八王子の囲碁文化を末長く継承していくためには、組織体制が整備され堅実な運営が行われ、日本棋院からも高い評価を受けている碁楽連と合併し、伝統と歴史のある市民文化祭囲碁大会を継承してもらうことが望ましく、このことを平成 18 年 6 月 15 日の役員会に諮ったところ、その方向で双方代表が話し合いの場を持つことについて了承した。

３．八王子囲碁連盟と碁楽連との話し合い及び覚書調印に至る経過

〇平成 18 年 6 月 24 日（第１回）話合

八王子囲碁連盟側（坂上圭司副会長・渕上和男幹事長・斎藤健幹事・廣島松治幹事）

碁楽連側　　（竹島正義会長・山崎修司理事・望月成一理事・三浦和夫理事）

主な話合項目

＜①合併条件・時期について
＜②合併後の名称について
＜③八王子文化連盟加盟問題について
＜④市民文化祭囲碁大会について
＜⑤財産について
＜⑥合併後の役員（理事）について
○平成18年９月１５日（第２回）話合
八王子囲碁連盟側（坂上圭司副会長・渕上和男幹事長・斎藤健幹事・廣島松治幹事）
碁楽連側　　（竹島正義会長・山崎修司理事・望月成一理事・渡辺己三男理事）
主な話合項目
＜①八王子文化連盟の受け入れ内容について
＜②市民文化祭囲碁大会の運営方法等について
＜③覚書（案）について

４．平成18年10月５日　八王子囲碁連盟役員会において、覚書（案）について協議し、原案を承認した。

５．平成18年１０月２１日　覚書調印

６．八王子囲碁連盟歴代会長名
初代　安嶋　元一　二代　師岡　春治　三代　安部　喜一　四代　谷合勘重郎
五代　大串　泰治

７．現八王子囲碁連盟役員名
会　長　大串泰治（八王子文化連盟加盟団体代表者）
副会長　坂上圭司
幹事長　渕上和男（八王子文化連盟　理事）
会　計　岡健一郎
幹　事　早川俊輔　永安浩二　菊地善二郎　山崎　稔　池袋雅文　岩谷孝雄
斎藤　健　廣島松治　　以上